

知っておきたい

まちの予算

平成30年度
予算説明書

平成30年度の各会計当初予算が、
3月の町議会定例会で可決されました。
まちの各会計予算の概要や、主な事業予算
についてお知らせします。

A stylized map of Kuriyama, Japan, with a red pin indicating the location of the town. The map is overlaid on a background image of the town's landscape.

KURIYAMA

発刊にあたって

平成 30 年度の予算概要や財政状況などをまとめた予算説明書「知っておきたいまちの予算」をお届けします。

本書は、本町自治の最高規範である「栗山町自治基本条例」に基づき、まちの財政情報を分かりやすく的確に公表し、町が進める事業への理解と情報の共有、まちづくりへの関心を深めていただくことを目的とし、本年度で 6 回目の発行となります。

本冊子の作成にあたっては、予算の全体像や主な事業予算について簡潔にまとめ、多くの町民の皆様に興味を持っていただけるような誌面構成に心がけています。是非、お読みいただき、まちの予算がどのように使われているのかをお確かめいただきたいと思います。

平成 30 年度は「栗山町第 6 次総合計画」の前期実施計画期間の最終年次であり、総合計画で掲げる「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」を実現するため、感謝の心をもって、町政を推進してまいります。

多くの町民の皆様の町政に対するご参加とご支援をいただきますよう、心からお願い申し上げます。



栗山町長 佐々木 学

栗山町自治基本条例（抜粋）

（財政運営）

第 26 条 行政は、自律的な財政基盤の強化を図るとともに、財政健全化の指標を定めた中長期の財政見通しのもと、健全な財政運営を行います。

2 行政は、総合計画等を踏まえて予算を編成し、執行します。

3 行政は、予算、決算、財政状況等を、毎年度、町民に公表します。

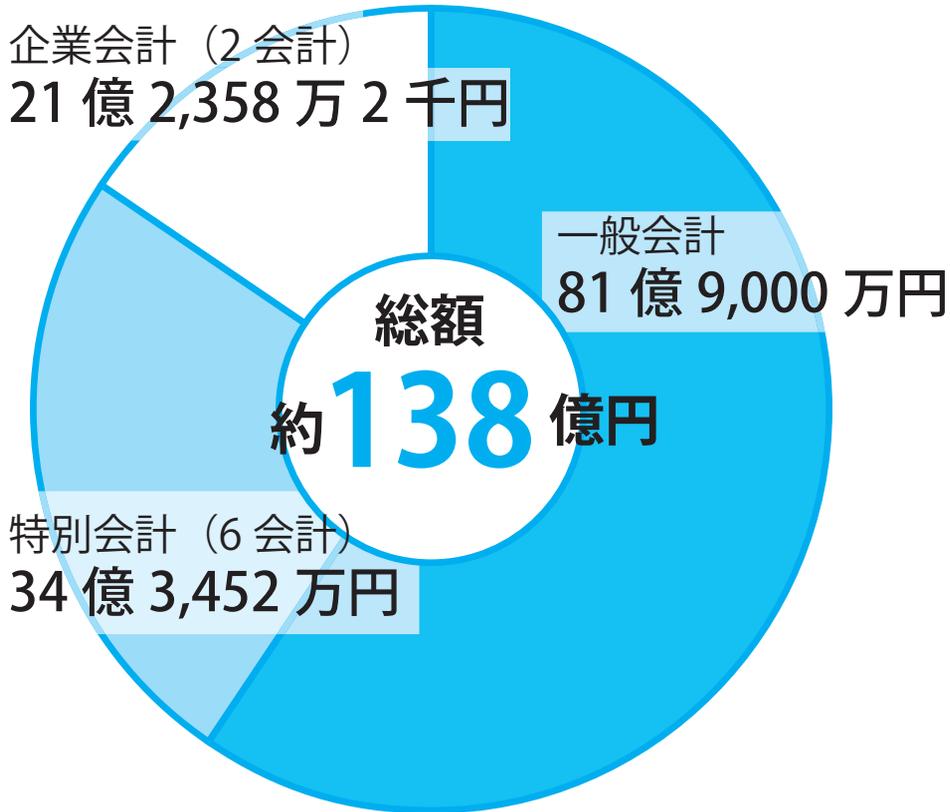
平成 25 年 4 月制定

もくじ

1.平成30年度当初予算の概要	1
2.一般会計予算の概要	3
3.特別会計予算の概要	5
4.企業会計予算の概要	5
5.基金（町の預金）の状況	6
6.町債（町の借入金）の状況	6
7.第6次総合計画に基づく分野別の予算	7
8.主な予算の使い道	
Ⅰ.生活環境	9
Ⅱ.教育	10
Ⅲ.医療・保健・福祉	12
Ⅳ.産業	14
Ⅴ.都市基盤	16
Ⅵ.地域経営	18
9.地図で見る主な公共事業の実施箇所	19



1. 平成30年度当初予算の概要



予算編成のポイント

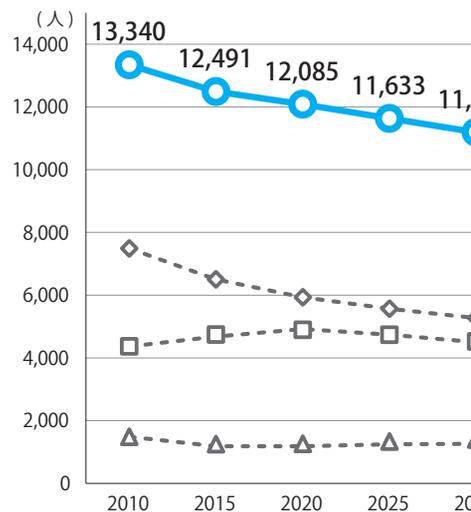
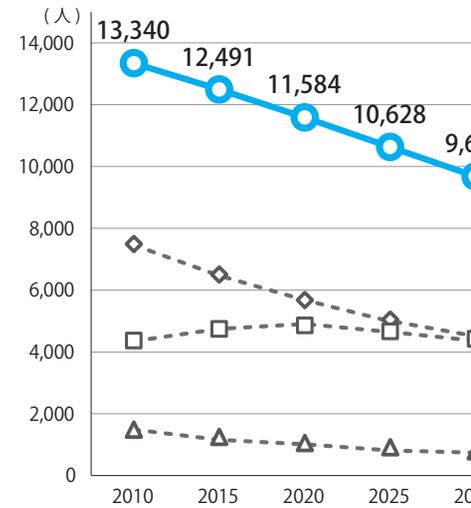
- ・平成30年度は栗山町第6次総合計画の前期実施計画期間の最終年次にあたり、継続事業や義務的経費のほか、計画に基づく主要施策についても引き続き取り組むべき重要課題として、当初予算に計上
- ・194事業の政策評価結果を踏まえ、政策の質の向上や行財政改革プランの着実な推進など、限られた財源の中で最大限の効果を上げるよう措置。

一般会計、国民健康保険ほか6特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を加えた、全会計の予算総額は137億4,810万2千円となり、前年度当初予算総額と比較し1億2,193万6千円(0.9%)の減となりました。

中でも、私たちの生活に最も身近な予算である一般会計は81億9,000万円で、前年度と比較し、1億8,700万円(2.3%)の増となっており、主に都市基盤(新町通りを中心とした市街地地区(中央1~3丁目)の再開発事業など)、福祉(平成30年4月に開園した栗山めぐみこども園を含む保育所等の給付負担事業など)、教育(ふるさといきものの里オオムラサキ館(平成30年7月オープン予定)事業など)、産業(町の魅力を発信する人材の育成・創出を図る若者シティプロモーション事業など)への予算が拡充されました。

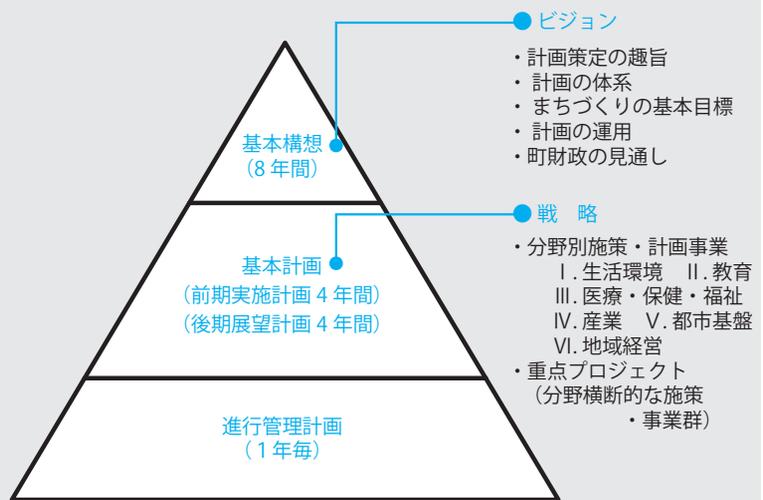
町が特定の事業を行う場合で一般会計とは別に収支経理を行う必要がある際に設けられる特別会計は6つの特別会計の合計で34億3,452万円となり、前年度と比較し3億2,120万円(8.6%)の減となりました。主な減少要因は、国民健康保険特別会計において、国民健康保険の財政運営が平成30年度より北海道によ

人口減少対策の推進



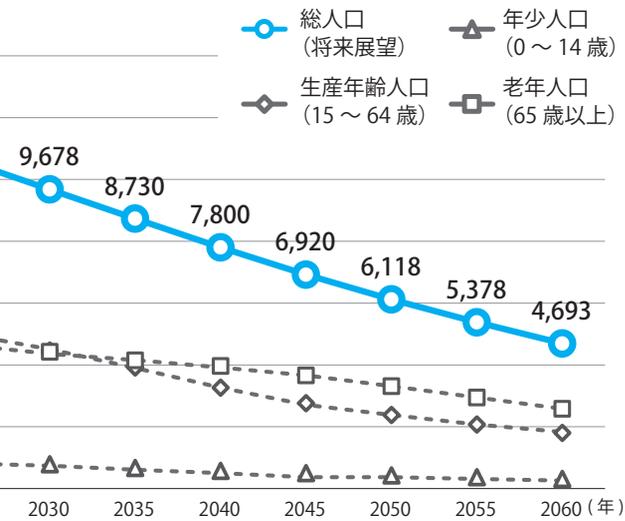
栗山町第6次総合計画について

町財政の健全経営と個性ある自律したまちづくりの両立を前提に、平成27年度から平成34年度までの本町の進むべき方向性を明らかにし、その具体化に向けた政策等を総合かつ計画に推進していくための「まちづくり計画」です。



●重点政策方針（4項目）

- ①子どもたちの笑顔が輝くまち「若者定住対策」
- ②生涯を自分らしく暮らすまち「健康寿命延伸」
- ③人と自然が共生するまち「自然環境保全・再生」
- ④地域の潜在力を活かすまち「産業活性化対策」



「栗山町第6次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による施策効果を着実に反映させることで、将来の人口規模の改善を目指します。



る広域運営に変わった影響等に伴うものです。

企業会計（水道、下水道事業）は21億2,358万2千円となり、前年度と比較し1,226万4千円（0.6%）の増となりました。主な増加要因は、下水道管理センター機器更新工事、町管理による合併処理浄化槽事業工事費の増等に伴うものです。

平成30年度は、本町の第6次総合計画の前期実施計画期間の最終年次にあたり、継続事業や義務的経費のほか、計画に基づく主要施策についても引き続き取り組むべき重要課題として、当初予算に盛り込んでいます。

さらに、194事業の政策評価結果を踏まえ、政策の質の向上や行財政改革プランの着実な推進など、限られた財源の中で最大限の効果を上げるよう予算措置を講じています。

2. 一般会計予算の概要

一般会計は、私たちの生活に最も身近な予算です。本年度の総額は81億9,000万円で、前年度を1億8,700万円(2.3%)上回っています。

歳入(町の収入)は、その性質により自主財源と依存財源に分かれます。自主財源は、町税など町が独自で集めることができるものです。依存財源は、地方自治が適切に運営できるよう国が各自治体に国税の一定割合を交付するお金(地方交付税)や、国や道などからの補助金、町の借入金に当たる町債などです。本町の依存財源割合は73.2%で、歳入の7割以上が国や道に依存している構造となっています【図1・表1】。

歳出(町の支出)は、福祉や教育などの行政目的ごとに分類した目的別で区分すると、児童、高齢者福祉、医療費助成などに要する民生費が18億2,769万2千円と最も多く、次いで職員給与や庁舎などの施設管理に要する総務費が16億2,319万9千円、

道路や公園、公営住宅の整備などに要する土木費が14億2,321万円の順となっています【図2・表2】。

また、経費を人件費や補助費などの性質別に分類した場合、支出割合の大きい順に、補助費(22.5%)、人件費(14.4%)、物件費(14.4%)、公債費(14.2%)などと続きます【図3】。

一般会計の予算額は、ピーク時の平成9年度に約106億円が計上されていましたが、第4次総合計画(平成10年度~)や、第1行財政改革計画(平成12年度~)の推進により財政運営の一層の効率化に取り組み、ここ数年の予算額は約70億円から約80億円で推移しています【図4】。

歳入(収入)

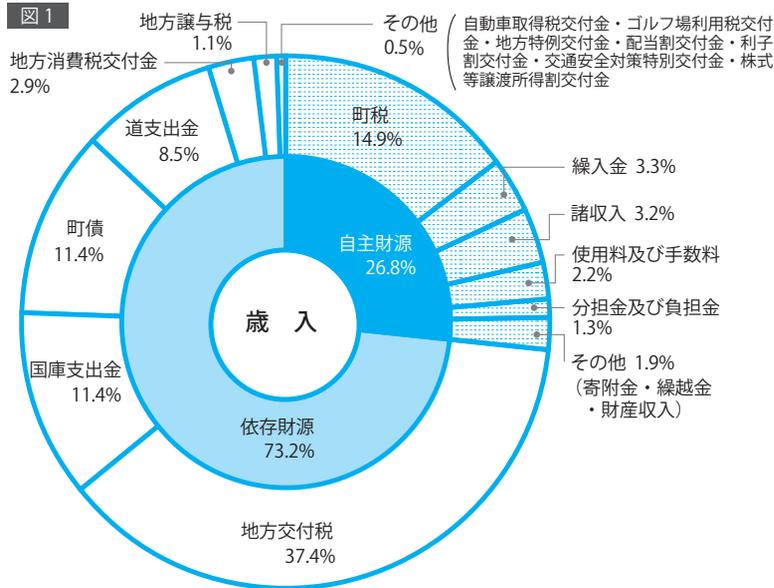


表1 (単位:千円)

町税 町民の皆さんから納めていただいた税金	1,223,563
分担金及び負担金 給食費や保育料などの負担金	107,838
使用料及び手数料 町営住宅の家賃や町税バスの乗車料金など	179,995
寄附金 ふるとさと応援寄付金などの寄附金	75,300
繰入金 基金(貯金)の取り崩し金	269,416
繰越金 前年度からの繰越金	50,000
その他収入 諸収入、財産の運用収入など	295,571
地方交付税 一定水準の行政サービスを保つための、国からの交付金	3,060,000
国庫支出金 使用目的が指定されている国からの補助金等	931,660
道支出金 使用目的が指定されている北海道からの補助金等	692,957
町債 公共事業などを行う為の長期借入金	930,700
その他交付金 地方消費税交付金や地方譲与税など、国税や道税の一部から配分される交付金	373,000
合計	8,190,000

歳出（支出）

表 2

(単位：千円)

議会費 議員報酬・議会の運営など	65,965
総務費 職員給与、公共施設の管理、まちづくりなど	1,623,199
民生費 児童、高齢者、障がい者福祉、医療費助成など	1,827,692
衛生費 各種健診や健康づくり、地域医療確保、ごみ処理など	433,597
労働費 雇用対策や勤労者の福祉など	10,630
農林水産業費 農業及び林業の振興、農業基盤の整備など	496,264
商工費 商店街の活性化、企業誘致、観光の振興など	159,897
土木費 道路や公園、公営住宅の整備、除排雪対策など	1,423,210
消防費 消防、救急活動全般	339,642
教育費 学校教育やスポーツ、生涯学習活動などの推進	634,747
災害復旧費 災害の復旧など	3,605
公債費 町の借入金償還など	1,166,552
諸支出金・予備費 他の支出科目に分類されない経費など	5,000
合計	8,190,000

図 2

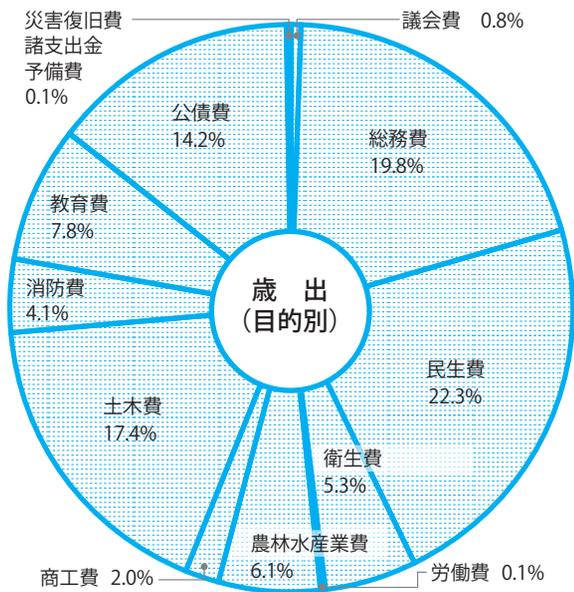
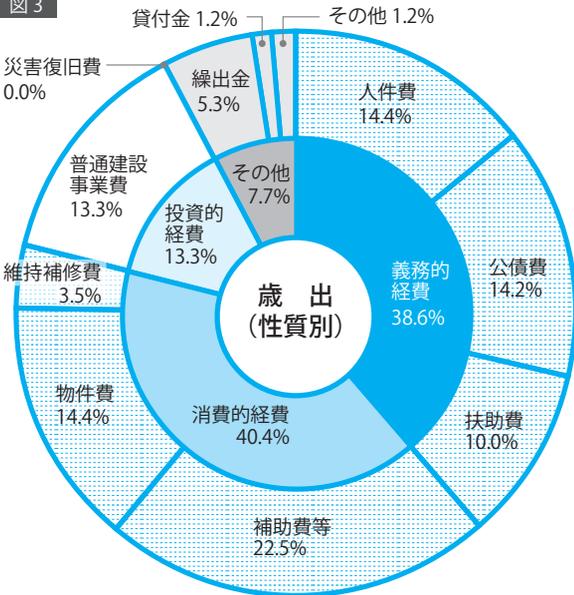


図 3



一般会計の推移

図 4



3. 特別会計予算の概要

特別会計は、町が特定の事業を行う場合で一般会計とは別に収支経理を行う必要がある際に設けられる会計です。

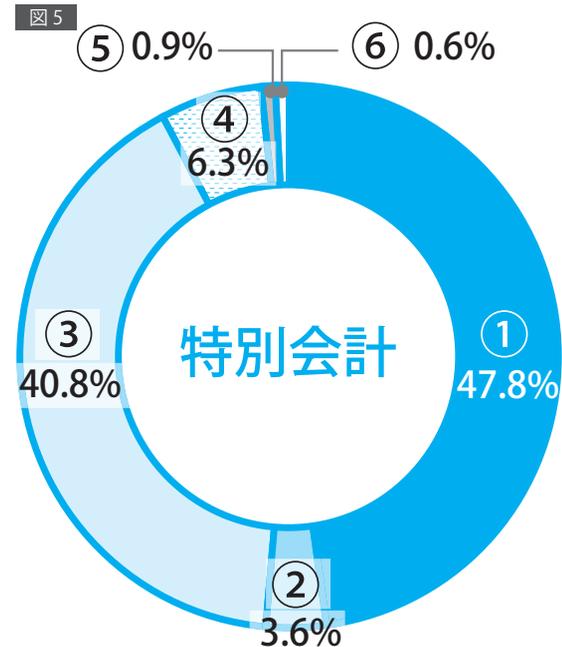
町の特別会計は、国民健康保険、北海道介護福祉学校、後期高齢者医療、介護保険、住宅団地造成事業、工業団地造成事業の6つの会計があり、本年度の特別会計予算の総額は34億3,452万円で、前年度

と比較し3億2,120万円(8.6%)の減となりました。

主な減少要因は、国民健康保険特別会計において、国民健康保険の財政運営が平成30年度より北海道による広域運営に変わったことによる影響に伴うものです。【表3・図5】

表3

会計名	予算額(千円)
①国民健康保険特別会計 国民健康保険に係る経費	1,645,530
②北海道介護福祉学校特別会計 北海道介護福祉学校に係る経費	122,000
③介護保険特別会計 介護保険に係る経費を計上	1,400,290
④後期高齢者医療特別会計 後期高齢者の医療に係る経費	215,010
⑤住宅団地造成事業特別会計 第4期朝日住宅団地造成に係る経費	29,370
⑥工業団地造成事業特別会計 第4工業団地造成に係る経費	22,320
計	3,434,520



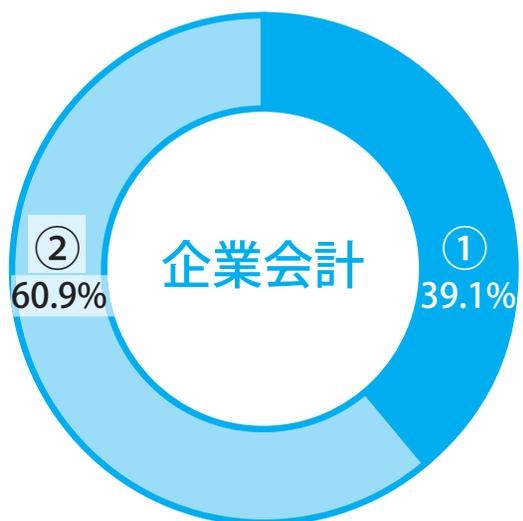
4. 企業会計予算の概要

企業会計は、民間企業と同様の経理方法により運営している会計です。町の企業会計は、水道会計、下水道会計の2つの会計があり、本年度の企業会計の総額は21億2,358万2千円で、前年度と比較し1,226万4千円(0.6%)の増となりました。主な増加要因は、下水道管理センター機器更新工事、町管理による合併処理浄化槽事業工事費の増等に伴うものです。【表4・図6】

図6

表4

会計名	予算額(千円)
①水道事業会計 水道事業に係る経費を計上	830,324
②下水道事業会計 下水道事業に係る経費を計上	1,293,258
計	2,123,582

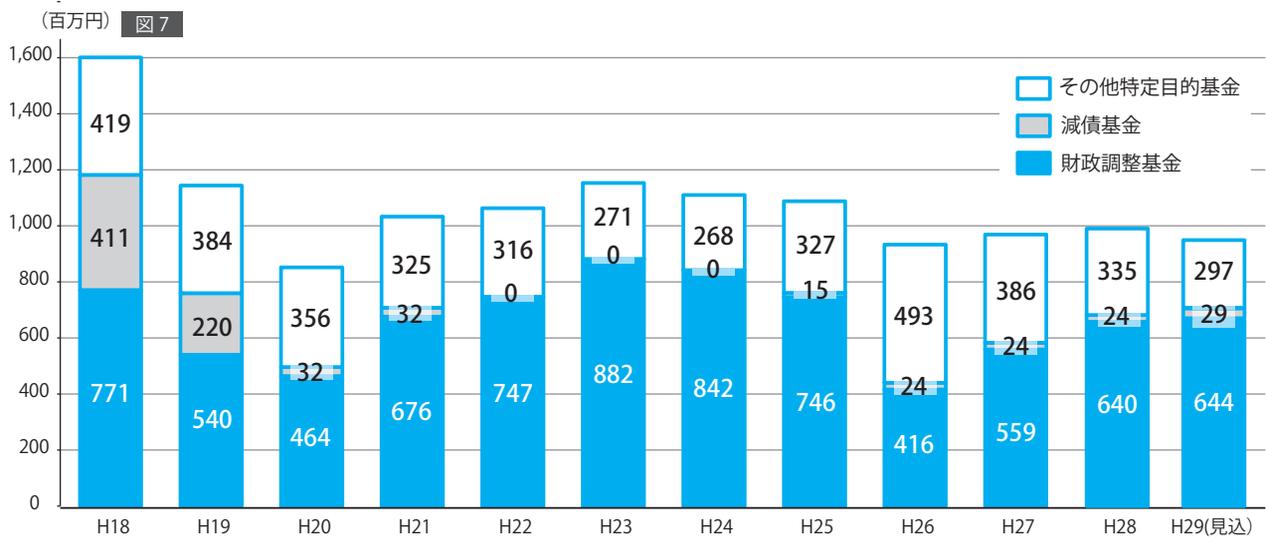


5. 基金（町の預金）の状況

基金は、安定した財政運営を進めていくため積立している町の預金です。

町債の返済額の増加や、主な歳入である地方交付税や町税の減少により、平成 20 年度末の基金残高は 8 億 5,127 万円まで減少しました。

平成 21 年度以降は、町債の返済がピークを過ぎたこと、国の臨時財政措置により地方交付税が増加したこと、国、道補助金の有効活用により自主財源の確保に努め、平成 29 年度末の基金残高見込みは、9 億 6,902 万円となっています。【図 7】



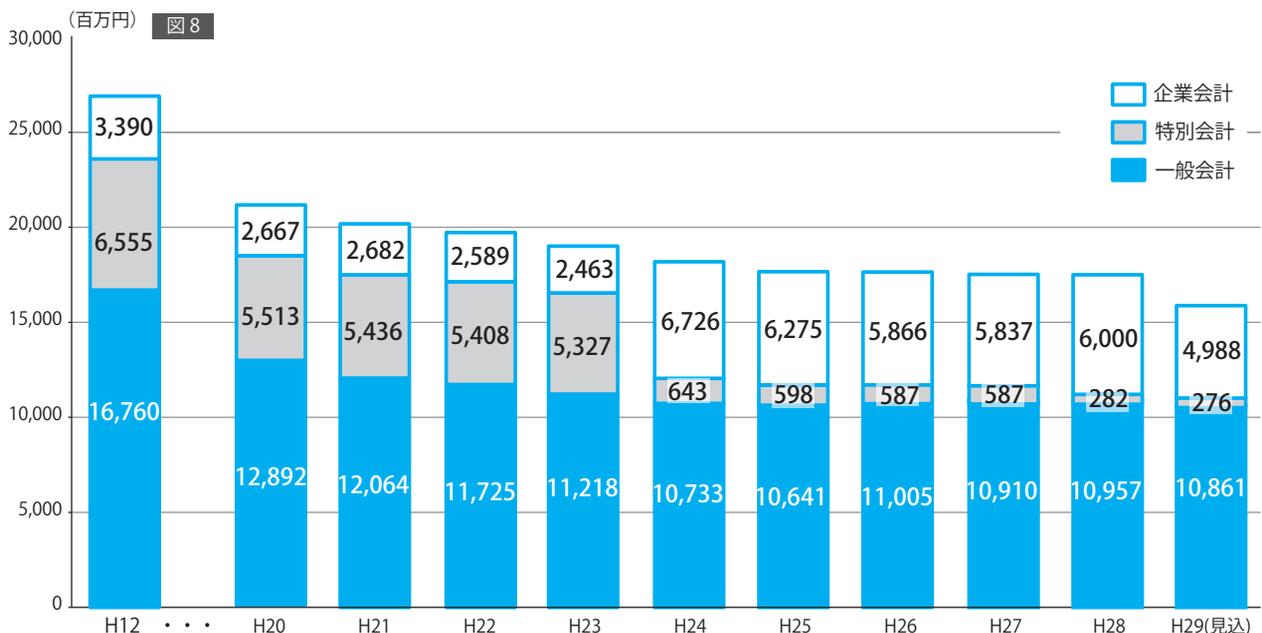
6. 町債（町の借入金）の状況

町債は、公共施設の整備などのために国から特別に認められて調達できる借入金のこと、「毎年の財源を平均する役割」と「現在と将来の町民の負担を公平にする役割」があります。

町債残高はピーク時（平成 12 年度）には 267 億 352 万円に達しましたが、新たな借入金の抑制や低

金利融資への借り換えなど、町債残高の減少と返済額の平準化を図ってきました。

その結果、町債残高は緩やかに減少し、平成 29 年度末残高見込みは 161 億 2,582 万 8 千円となり、ピーク時との比較では、105 億 7,769 万 2 千円減少しています。【図 8】



7. 第6次総合計画に基づく分野別の予算

平成27年度にスタートした第6次総合計画に基づき、計画の目標である4つの重点政策方針を柱として、各分野にわたる主要な計画事業を継続的に取り組みます。

平成30年度の全体予算を第6次総合計画の政策分野で分類した予算額は右記のとおりで、「医療・保健・福祉」に関する予算が最も多く（50.2%）、次に都市基盤に関する予算（26.1%）が続きます。

各分野の主な予算の使い道については9ページから18ページをご覧ください。

I. 生活環境

計 6億4,019万7千円 (6.6%)

- ①ごみ処理 2億211万4千円 (2.1%)
- ②環境・エネルギー 2,179万円 (0.2%)
- ③防災 5,978万4千円 (0.6%)
- ④消防・救急 3億3,954万2千円 (3.5%)
- ⑤生活安全 1,696万7千円 (0.2%)

 主な予算の使い道：9ページ

II. 教育

計 6億1,808万1千円 (6.4%)

- ①学校教育 3億226万5千円 (3.1%)
- ②生涯教育 1億1,807万8千円 (1.2%)
- ③自然環境教育 5,783万4千円 (0.6%)
- ④スポーツ 1億1,839万8千円 (1.2%)
- ⑤芸術文化 1,604万3千円 (0.2%)
- ⑥国際・地域間交流 546万3千円 (0.1%)

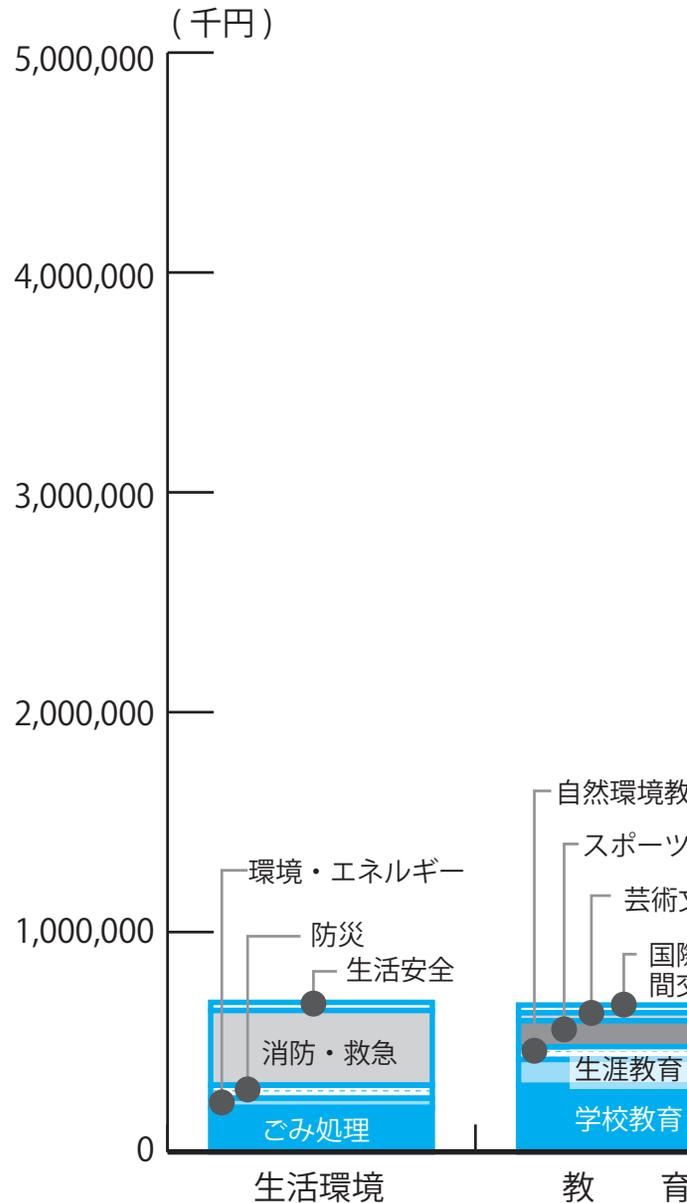
 主な予算の使い道：10ページ

III. 医療・保健・福祉

計 48億8,465万4千円 (50.2%)

- ①保健 16億9,499万7千円 (17.4%)
- ②地域医療 1億4,520万円 (1.5%)
- ③児童福祉 5億5,333万5千円 (5.7%)
- ④高齢者福祉 19億5,741万5千円 (20.1%)
- ⑤地域福祉 4,006万5千円 (0.4%)
- ⑥障がい者福祉 4億9,364万2千円 (5.1%)

 主な予算の使い道：12ページ



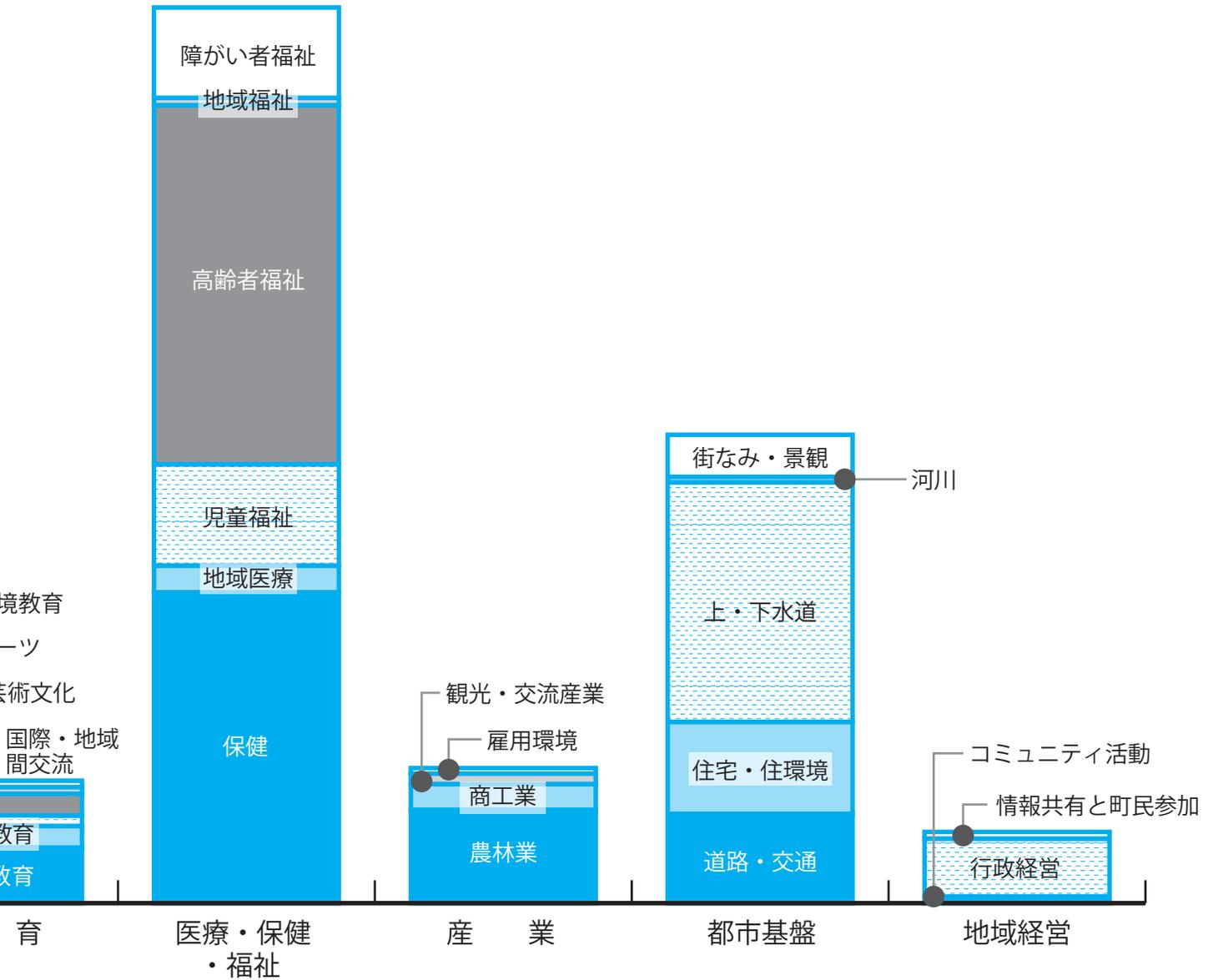
IV. 産業

計 7億1,698万9千円 (7.3%)

- ①農林業 5億840万8千円 (5.2%)
- ②商工業 1億4,047万7千円 (1.4%)
- ③観光・交流産業 5,747万4千円 (0.6%)
- ④雇用環境 1,063万円 (0.1%)

 主な予算の使い道：14ページ

※人件費、公債費、各会計間の繰出金の重複を除いて集計しているため、各会計の単純合計とは一致しません。



V. 都市基盤

計 25 億 4,439 万 3 千円 (26.1%)

- ①道路・交通 4 億 8,744 万 9 千円 (5.0%)
- ②住宅・住環境 5 億 38 万 7 千円 (5.1%)
- ③上・下水道 13 億 671 万円 (13.4%)
- ④河川 2,029 万 7 千円 (0.2%)
- ⑤街なみ・景観 2 億 2,955 万円 (2.4%)

[📄 主な予算の使い道：16 ページ](#)

VI. 地域経営

計 3 億 3,861 万 2 千円 (3.4%)

- ①コミュニティ活動 577 万 4 千円 (0.1%)
- ②行政経営 3 億 1,594 万 2 千円 (3.1%)
- ③情報共有と町民参加 1,689 万 6 千円 (0.2%)

[📄 主な予算の使い道：18 ページ](#)

8. 主な予算の使い道

※担当課に表記されている G はグループの略称です。
(例：住民生活課生活安全 G = 住民生活課生活安全グループ)

I . 生活環境 ～安心して暮らせる ふるさとづくり～



ごみ処理

中間処理によるごみの再資源化に取り組みます。

- ・ 廃棄物の収集・運搬、資源物処理 9,084 万 4 千円
- ・ 廃棄物処理施設の管理・運営 1,937 万円

担当課：環境政策課

堆肥化施設の脱臭設備機器を維持管理します。

担当課：環境政策課 382 万 7 千円

埋立ごみの減容による、最終処分場の延命化に取り組みます。

- ・ 最終処分場の管理 199 万 9 千円
- ・ 一般廃棄物の外部焼却処理 2,419 万 2 千円

担当課：環境政策課

道央廃棄物処理組合へ加入し、広域焼却処理による効率的な収集・運搬体制を確立します。

682 万 4 千円 (道央廃棄物処理組合負担金)

担当課：環境政策課



防災

役場敷地内に防災用備蓄倉庫を新築します。

4,985 万 1 千円

担当課：総務課広報・防災・情報 G

災害時の食料、資機材等を計画的に備蓄します。

担当課：総務課広報・防災・情報 G 296 万 4 千円

全国瞬時警報システム (Jアラート) の受信機を新型に切り替えます。

248 万 4 千円

担当課：総務課広報・防災・情報 G

総合防災訓練、冬季合同防災訓練を実施します。

担当課：総務課広報・防災・情報 G 8 万 1 千円

防災ガイドブックを作成します。

188 万円

担当課：総務課広報・防災・情報 G



環境・エネルギー

住宅用太陽光発電システム設置費用を助成します。

担当課：環境政策課 210 万円

再生可能エネルギーを導入する町内事業者へ設置費用を助成します。

200 万円

担当課：ブランド推進課



消防・救急

消防団第 2 分団第 2 部 (雨煙別地区等) のポンプ車を更新します。

3,038 万 4 千円 (南空知消防組合負担金)

担当課：南空知消防組合消防署

災害発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を維持します。

3 億 915 万 8 千円 (南空知消防組合負担金)

担当課：南空知消防組合消防署



生活・安全

交通安全運動の取り組みを支援します。 163 万円
担当課：住民生活課生活安全 G

町道への道路警戒標識を整備します。 300 万円
担当課：住民生活課生活安全 G

防犯灯(街路灯)の設置費用、電気料金を助成します。
担当課：住民生活課生活安全 G 600 万円

悪質商法による被害相談など、南空知4町の広域消費生活相談を実施します。 100 万円
担当課：ブランド推進課

II . 教育 ~人々が輝くふるさとづくり~



学校教育

民間のALT(2名中1名)を配置した外国語学習を実施します。 328 万 4 千円
担当課：教育委員会学校教育 G

学習や学校生活に困難を抱える児童生徒への支援のため、特別支援教育支援員を増員配置します。
担当課：教育委員会学校教育 G 1,639 万 9 千円

学校と地域が協働し子どもたちを育てる学校運営協議会制度や、土曜授業に取り組みます。
担当課：教育委員会学校教育 G 129 万 6 千円

教育機会を均等に保障するため、各家庭の経済的負担を軽減します。
・学校行事・特別活動費の助成 513 万 4 千円
・要保護・準要保護児童生徒就学援助 1,047 万 9 千円
担当課：教育委員会学校教育 G

通学路の安全マップを更新します。 10 万円
担当課：教育委員会学校教育 G

角田小学校校長・教頭住宅を改修します。
担当課：教育委員会学校教育 G 1,400 万 8 千円

継立小学校体育館の屋根を塗装します。
担当課：教育委員会学校教育 G 226 万 8 千円

栗山高等学校生徒の各種資格取得費を助成します。
担当課：教育委員会学校教育 G 15 万円

各小学校の設備を修繕します。 391 万 5 千円
・栗山小学校：体育館ステージ映写幕、大型2人用ブランコ修理等
・角田小学校：玄関インターホン取替修理、エゾエノキ剪定等
・継立小学校：バックネット・フェンス、校舎ボイラー修理等
・全校共通：トイレの一部を洋式化
担当課：教育委員会学校教育 G

栗山中学校の設備を修繕します。 116 万 7 千円
・スタンドグラス修理
・特別支援教室ベランダモルタル修理
・プラスバンド備品修理等
担当課：教育委員会学校教育 G

給食用備品を更新します。 132 万 6 千円
担当課：学校給食センター

北海道介護福祉学校開校30周年記念式典を開催します。

77万円

担当課：北海道介護福祉学校

北海道介護福祉学校の学生募集対策に取り組みます。

担当課：北海道介護福祉学校 274万7千円



生涯教育

趣味や教養を高める町民講座等を開催します。

担当課：教育委員会社会教育 G 45万6千円

生涯学習情報誌「マナビィ」を発行します。

担当課：教育委員会社会教育 G 45万8千円

図書館運営をはじめ、読書活動の普及に取り組みます。

担当課：図書館 4,860万4千円

南部公民館のボイラー等を修繕します。

担当課：教育委員会社会教育 G 802万7千円

農村環境改善センターの設備等を修繕します。

669万2千円

- ・管理棟屋上防水改修
- ・西側駐車場LED外灯設置
- ・多目的ホールステージ幕修繕等

担当課：教育委員会社会教育 G

カルチャープラザ「Eki」多目的ホールのプロジェクター等を更新します。

179万4千円

担当課：教育委員会社会教育 G

国道234号沿いに設置する栗山中学校等入口看板の表示面を改修します。

21万9千円

担当課：教育委員会社会教育 G



自然環境教育

オオムラサキ観察飼育舎の移設に伴い、ふるさといきものの里オオムラサキ館の施設サービスを充実させます。

1,412万4千円

担当課：教育委員会社会教育 G

移設するオオムラサキ観察飼育舎内の造園工事等を実施します。

1,281万9千円

担当課：教育委員会社会教育 G

ハサンベツ里山環境の保全・再生活動を支援します。

担当課：教育委員会社会教育 G 913万5千円

自然環境保全・再生中長期計画を策定します。

担当課：教育委員会社会教育 G 31万2千円

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを活用した、自然環境教育やふるさと体験プログラムの実施を支援します。

2,090万1千円

担当課：教育委員会社会教育 G



スポーツ

各種体育団体への補助や、体育行事、運動教室を実施します。

441万8千円

担当課：教育委員会社会教育 G

町民球場のスコアボード塗装修繕、グラウンド土入替等を実施します。

1,020万9千円

担当課：教育委員会社会教育 G

ふじ交流センターの放送設備を更新します。

担当課：教育委員会社会教育 G 49万1千円

栗山水泳プールのプールサイドを修繕します。

担当課：教育委員会社会教育 G 323万2千円

継立水泳プールのシャワー系統配管を修繕します。

担当課：教育委員会社会教育 G 43万2千円

スポーツセンターのトイレの一部を洋式化します。

担当課：教育委員会社会教育 G 73万8千円



芸術・文化

ひなまつりコンサートをはじめ、音楽・芸術鑑賞の機会を提供します。

497万5千円

担当課：教育委員会社会教育 G

町内芸術家の活動を支援します。

34万6千円

担当課：教育委員会社会教育 G

開基100年記念事業として設置されたふるさと史跡案内板を再整備し、史跡めぐり事業を実施します。

担当課：教育委員会社会教育 G 262万5千円

泉記念館横の立木を枝払いします。

68万1千円

担当課：教育委員会社会教育 G



国際・地域間交流

福島県川俣町の子供たちとの英語コミュニケーションスキル交流事業を支援します。

50万円

担当課：教育委員会社会教育 G

町内在住の中高生を対象とした、海外派遣事業(少年ジェット希望の翼)を実施します。

357万3千円

担当課：教育委員会社会教育 G

子どもや勤労青年による宮城県角田市(姉妹都市)との交流事業を実施します。

109万円

担当課：教育委員会社会教育 G

III. 医療・保健・福祉 ~健幸に暮らせるふるさとづくり~



保健

中学生へのピロリ菌検査費用を助成します。

担当課：保健福祉課健康推進 G 22万1千円

各種がん検診や、予防対策の啓発事業を実施します。

担当課：保健福祉課健康推進 G 1,529万8千円

特定健診や脳検診を実施します。

1,712万6千円

担当課：保健福祉課健康推進 G

バランスのとれた食生活や運動などの生活習慣改善事業を実施します。

21万4千円

担当課：保健福祉課健康推進 G

子どもの「う歯(虫歯)」予防を推進します。

担当課：保健福祉課健康推進 G 132万2千円

成人高齢者歯科検診を実施します。

108万4千円

担当課：保健福祉課健康推進 G

流行性耳下腺炎ワクチン予防接種費を助成します。

担当課：保健福祉課健康推進 G 33万8千円

特定不妊治療費を助成します。

45万円

担当課：保健福祉課健康推進 G



地域医療

安心して生活できる医療体制を維持・確保します。

8,266万5千円(栗山赤十字病院への助成)

担当課：保健福祉課地域医療 G

救急医療体制を確保します。

6,144万2千円

担当課：保健福祉課地域医療 G



児童福祉

育児の援助を受けたい人と支援したい人が会員となり、育児を助け合う事業を実施します。(ファミリー・サポートセンター事業) 325万9千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

平成31年度の「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、子育て環境等のニーズ調査を実施します。 57万4千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

児童センターと放課後児童クラブを運営します。 2,533万5千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

保育所の一時保育・延長保育の運営費を補助します。(平成30年度より栗山めぐみこども園が開設) 1,113万3千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

子どもの発達相談や支援に取り組みます。 167万6千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

子どもの発達・療育サービスの利用料等を助成します。 84万円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

小学校就学前の子どもとその保護者が遊べる場所の提供や、子育て講座、情報交換の場として活用できる子育て支援センター「スキップ」を運営します。 302万3千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

保育園等の運営を支援します。(平成30年度より栗山めぐみこども園が開設) 3億1,256万円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

ファイナンシャルプランナーによるライフステージに応じた相談事業を実施します。(くりやまライフサポーター事業) 23万円
担当課：若者定住推進室

高校3年生までの医療費を助成します。 3,118万5千円
担当課：住民生活課住民・国保G



高齢者福祉

高齢者を対象とした介護予防教室や、地域の住民が主体となって活躍できる高齢者の通いの場づくりなどの介護予防につながる事業を実施します。 929万8千円
担当課：保健福祉課高齢者・介護G

介護予防・生活支援対策推進のため、地域における生活実態のニーズ調査・分析・評価を実施します。 97万2千円
担当課：保健福祉課高齢者・介護G



地域福祉

高齢者が生きがいを持てるまちづくりを目指して「まちなかカフェ」の取り組みを支援します。 150万円(社会福祉協議会補助金)
担当課：保健福祉課高齢者・介護G

ケアラー支援事業など社会福祉協議会の運営を支援します。 1,395万2千円(社会福祉協議会補助金)
担当課：保健福祉課高齢者・介護G



障がい者福祉

特定疾患や人工透析患者(町外通院)の通院費の一部を助成します。 70万円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

町外就労支援事業所に通所する精神障がい者等の交通費の一部を助成します。 11万8千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

心身に障がいのある方のハイヤー利用料金の一部を助成します。 39万6千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

手話奉仕員の養成に向けた手話体験講座を開催します。 7万5千円
担当課：保健福祉課福祉・子育てG

IV. 産業 ～賑わいと活力あるふるさとづくり～

農林業

地域の中心的な役割を果たす農業後継者を育成します。
担当課：産業振興課 330万9千円

意欲ある新規農業参入者の受け入れ、支援に取り組みます。
担当課：産業振興課 4,917万8千円

地域資源の保全活動や施設の長寿命化のための活動を支援します。(多面的機能直接支払交付金制度)
担当課：産業振興課 1億8,090万8千円

生産条件が不利な中山間地域等の農業生産活動を支援します。(中山間地域等支払交付金制度)
担当課：産業振興課 1億5,360万4千円

農産物加工などによる新商品開発や販路拡大に向けた6次産業化の取組みを支援します。128万1千円
担当課：産業振興課

制度融資に対する利子を助成します。78万2千円
担当課：産業振興課

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援します。(環境保全型農業直接支払交付金制度)
担当課：産業振興課 413万円

都市農村交流の取組みを支援します。
(栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会補助金)
担当課：産業振興課 19万8千円

有害鳥獣対策に取り組みます。543万8千円
担当課：産業振興課

農地等の整備事業を支援します。6,091万4千円

- ・ 継立ため池1地区
- ・ 継立ため池2地区
- ・ 継立北部地区
- ・ 継立南部地区
- ・ 南角田北部地区
- ・ 南角田南部地区

担当課：建設水道課技術G

計画的な町有林の管理と民有林の整備を支援します。
担当課：産業振興課 1,813万6千円

商工業

まちの駅栗夢プラザの運営や、子育て応援事業などの商店街振興の取組みを支援します。
担当課：ブランド推進課 644万7千円

第4工業団地を含めた企業誘致活動に取り組みます。
担当課：ブランド推進課 150万円

中小企業への相談指導や資金貸付、利子等を助成し、経営安定、改善の支援に取り組みます。
担当課：ブランド推進課 1億2,964万7千円



観光・交流産業

くりやま夏まつりの開催支援や、栗山駅での総合案内など観光体制の取り組みを進めます。

担当課：ブランド推進課 546万6千円

栗を活用した地域ブランドの開発(生産体制の確立、商品開発等)に取り組みます。

担当課：ブランド推進課 200万円

東アジアを中心とした海外への特産品の販路開拓及び観光客受け入れを推進します。

担当課：ブランド推進課 200万円

若者・子育て世代等の移住促進に取り組みます。

担当課：若者定住推進室 236万円

不動の滝の遊歩道柵を改修します。

担当課：ブランド推進課 443万1千円

町の魅力を発信する人材の育成・創出や「くりにイトするまち 栗山町」の発信、定着に向けた事業を実施します。(若者シティプロモーション推進事業)

担当課：若者定住推進室 987万2千円

訴求力に優れた情報発信媒体の作成や食の専門学校との交流事業を実施します。(若者シティプロモーション推進事業)

担当課：若者定住推進室 587万円

農泊の取り組みを支援します。(栗山町農泊推進対策協議会補助金)

担当課：教育委員会社会教育 G 400万円

くりやまちょうPR隊の地域定着化と、ふるさと納税等のPR活動に取り組みます。

担当課：経営企画課地域政策 G 1,791万6千円

北海道日本ハムファイターズ応援大使事業を実施します。

担当課：経営企画課地域政策 G 185万8千円



雇用環境

南空知通年雇用促進協議会へ参画し、南空知4町の季節労働者の通年雇用化の取り組みを支援します。

担当課：ブランド推進課 5万1千円

雇用労働実態調査を実施します。

担当課：ブランド推進課 201万1千円

勤労者福祉センターの暖房配管を修繕します。

担当課：ブランド推進課 311万円

V. 都市基盤 ～快適でやすらぐふるさとづくり～



道路・交通

舗装長寿命化個別計画を策定します。110万2千円
担当課：建設水道課技術 G

歩道用ロータリ除雪車を更新します。
担当課：建設水道課総務管理 G 2,236万2千円

コミュニティバス（くるりん号）をはじめとする町営バスを運行します。7,273万8千円
担当課：建設水道課総務管理 G

都市間交通アクセスを確保するため、民間バス路線に対して助成します。396万8千円
担当課：経営企画課地域政策 G

町道の改良や橋梁の補修工事を実施します。1億6,346万5千円

- ・杵臼本線道路改良・舗装工事
- ・鳩山橋補修工事
- ・南大通り歩道改修工事
- ・角田駅前線歩道改修工事
- ・中央通り歩道改修工事

担当課：建設水道課技術 G



上・下水道

老朽化している水道管及び桜山浄水場機器を更新します。1億6,059万3千円
担当課：建設水道課上下水道 G

下水道管理センター機器を更新します。
担当課：建設水道課上下水道 G 2億4,400万円

町管理による合併処理浄化槽事業を実施します。
担当課：建設水道課上下水道 G 1,697万4千円



住宅・住環境

曙団地2棟16戸の建て替えを実施します。
担当課：建設水道課技術 G 4億2,793万2千円

旧日出団地の解体工事を実施します。850万円
担当課：建設水道課技術 G

松風団地の浴室防水改修工事を実施します。
担当課：建設水道課技術 G 300万円

老朽化した危険な空家の対策に取り組みます。
担当課：建設水道課技術 G 46万9千円

住宅のバリアフリー改修や解体等に対して助成します。（人にやさしい住宅助成事業）450万円
担当課：建設水道課技術 G

中里団地の遊具を更新します。182万6千円
担当課：建設水道課技術 G

エコビレッジ湯地の丘の商業用地確定測量を実施します。89万7千円
担当課：ブランド推進課

若者・子育て世代の移住者に対する住宅取得費用や中古住宅リフォーム費用等を助成します。
担当課：若者定住推進室 733万5千円



街なみ・景観

景観フォトコンテストを開催します。 24万6千円

担当課：建設水道課技術 G

御大師山の散策路を改修します。 200万9千円

担当課：建設水道課技術 G

新町通りを中心とした市街地区（中央1～3丁目）
の再開発事業を実施します。 1億1,245万7千円

- ・栗山駅南交流拠点施設整備用用地購入
- ・栗山駅南交流拠点施設購入
- ・栗山駅南公園造成用地購入
- ・町道改修調査設計 等

担当課：建設水道課技術 G

都市公園施設の改築更新工事を実施します。

6,237万6千円

- ・栗山公園内展望デッキ
- ・にしき児童公園
- ・朝日ふれあい公園
- ・かくた児童公園
- ・ひまわり児童公園 他

担当課：建設水道課技術 G

継立中学校の跡地活用を含めた南部地域振興策を検討します。 14万円

担当課：経営企画課地域政策 G



河川

河川の浚渫工事を実施します。(草木川、高橋の沢川、
多良津川) 558万円

担当課：建設水道課技術 G

VI. 地域経営 ～みんなが主役のふるさとづくり～



コミュニティ活動

まちづくり協議会などの地域活動を支援します。
担当課：経営企画課地域政策 G 333万4千円

まちの魅力を活かした地域活性化活動等に取り組む
団体を支援します。(まちの魅力アップ応援事業交
付金) 60万円
担当課：経営企画課地域政策 G



情報共有と町民参加

町民向け予算説明書の発行や、新公会計による財務
書類を作成します。 272万円
担当課：経営企画課行政経営 G

町広報やホームページ、SNS（ソーシャル・ネット
ワーキング・サービス）による町の情報発信に取り
組めます。 970万7千円
担当課：総務課広報・防災・情報 G

開拓130年・町制施行70年記念事業を実施しま
す。 222万8千円
担当課：総務課総務 G

栗山町史（平成史）の編纂に取り組みます。
担当課：経営企画課地域政策 G 206万3千円



行政経営

まちの統計情報をまとめた「ポケット統計」を作成
します。 3万6千円
担当課：経営企画課地域政策 G

総合計画に基づく施策・計画事業の評価を行い、改
善・見直しに取り組みます。 29万2千円
担当課：経営企画課地域政策 G

南空知ふるさと市町村圏組合や学生地域定着推進広
域連携協議会などへ参画し広域連携に取り組みます。
担当課：経営企画課地域政策 G 137万5千円

住宅土地統計調査を実施します。 40万9千円
担当課：経営企画課地域政策 G

栗山町第6次総合計画後期計画の策定に取り組みます。
担当課：経営企画課地域政策 G 63万8千円

ふるさと納税制度を戦略的に展開します。
担当課：経営企画課地域政策 G 7,500万3千円

コンビニ収納による納税の利便性向上に取り組みます。
担当課：税務課収納 G 125万8千円

旧老人憩の家を解体します。 450万円
担当課：建設水道課技術 G

職員の育成のため、各種研修事業を実施します。
担当課：総務課総務 G 500万3千円

行政情報システムの運用により事務の効率化と行政
サービスの向上に取り組みます。 2,786万6千円
担当課：総務課広報・防災・情報 G

